



# 学校だより 年度末号

令和8年3月24日・25日

杉並区立済美養護学校

校長 伴 比佐志

<http://www.suginami-school.ed.jp/seibiyougo/>

令和7年度の済美養護学校の教育活動が終わります。

お子様の学習のまとめとして、個別指導計画の評価とあゆみを持ち帰ります。1年間の学習の成果をお読みいただき、御家族とお子さんと共有し、ぜひ大いに褒めてあげてください。

春季休業があけた4月からは、児童・生徒は新学年にひとつ歩みを進めます。新しい生活に期待をもち、体も気持ちもリフレッシュして、始業式・入学式に会えることを楽しみにしております。今年度の学校教育への御理解と御協力を、まことにありがとうございました。

## <令和7年度杉並区立済美養護学校卒業式における校長式辞>

小学部20人、中学部17人の卒業生のみなさん、卒業おめでとうございます。  
保護者の皆様、お子様の御卒業、まことにおめでとうございます。

今、お子様たちが、人生の節目を迎えられたことに、喜びはひとしおのことと思います。

そして、保護者の皆様は、これまでのお子様たちの成長の過程にある、様々な思い出が浮かんでいるのではと思います。そして、この日まで、本校の教育活動につきまして、多大なる御理解と御協力をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。御卒業、本当に、おめでとうございます。

会場にある花は、中学部の作業学習でつくった腐葉土をつかい、小学部児童が育てた花です。ここに参列できなかった在校生からの祝福を、お受け取りください。

そして、本日は、多くの来賓の皆様にご臨席たまわりましたこと、厚く御礼申し上げます。

卒業生の皆さんは、今、卒業証書を受け取ることができました。卒業証書を受け取る時の姿は、小学部・中学部の学習の締めくくりにふさわしく、とてもりっぱな姿でした。

小学部を卒業する皆さんは、4月からは中学生となり、新しい建物での学校生活が始まります。小学生の時に身につけた力に自信をもって、一人一人のよいところをさらに伸ばしましょう。そして、4月からは、新しい仲間が増えます。ともに力を合わせて、主体的に積極的に学び、中学生として活躍してください。

中学部を卒業する皆さんは、4月からは高校生です。済美養護学校で学び身につけた自立の力を、進学先でしっかりと発揮してください。済美養護学校の教職員一同、心から応援しています。

「これからの人生には、必ず壁が現れます。しかし、その壁が見えているなら、それは自分の力で超えることができる壁なのです。超えられない壁はない」のです。中学生・高校生になった時の新たな目標に向かって、自分の力を信じて主体的に、しっかりと前を向き、時には仲間を力合わせながら確実に一步一步、歩いていってください。

本日巣立つ、卒業生のこれからの健康と活躍を、そして、保護者の皆様の御健勝をお祈りし、校長の式辞といたします。

令和8年3月24日 杉並区立済美養護学校長 伴 比佐志

